

先日は、手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。観察会のレポートを作成しましたのでご覧ください。次回10月の「てがたん」は10月9日(土)で、「渡り鳥をみよう」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

\*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは10月2日(土)です。よろしくお願いいたします。

## 9月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社→フジ棚前の水田→手賀沼遊歩道→鳥の博物館
- 観察日時/天気 2010年9月11日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加者 25名(一般15名、子ども10名)
- 市民スタッフ 11名(伊東茂子、加藤文雄、玄地昭八、小泉伸夫、須貝基康、弘實さと子、竹本周平、古川克彌、松村定雄、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 2名(斉藤安行、村松和行)

## 観察記録 — 9月に観察した生き物リスト —

### 【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ(声) / クイナ科：オオバン(声) / ハト科：キジバト / セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ / ヒヨドリ科：ヒヨドリ / モズ科：モズ / シジュウカラ科：シジュウカラ / ハタオリドリ科：スズメ / ムクドリ科：ムクドリ / カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス

【ハ虫類】ニホンカナヘビ、ヤモリ 【両生類】ニホンアマガエル

### 【昆虫・クモ】

チョウ・ガの仲間：モンシロチョウ、モンキチョウ、アゲハ、アオスジアゲハ、カラスアゲハ、イチモンジセセリ、コチャバネセセリ、ヒメジャノメ、アカタテハ、ツマグロヒョウモン、ウラナミシジミ、ヤマトシジミ、ムラサキシジミ / バッタの仲間：ヤブキリ、ウスイロササキリ、クビキリギス、ヒメギス、ショウリョウバッタ、トノサマバッタ、オンブバッタ、イボバッタ、ツチイナゴ、コバネイナゴ、クルマバッタモドキ、ハネナガヒシバッタ、オカメコオロギ、エンマコオロギ、クマスズムシ、マダラスズ(声)、キンヒバリ、(声)、クサヒバリ(声)、カネタタキ(声)、ツツレサセコオロギ(声)、アオマツムシ(声)、カマキリの仲間：コカマキリ、チョウセンカマキリ / ハサミムシの仲間：ハサミムシ / カメムシの仲間：アオバハゴロモ、ナガメ、マルカメムシ、ツマグロスケバ、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシ / 甲虫の仲間：センチコガネ、ヤマトタマムシ、キボシアオゴミムシ / ハエの仲間：ミズアブ種不明(幼) / ハチの仲間：オオスズメバチ、ニホンミツバチ / トンボの仲間：シオカラトンボ、ウスバキトンボ、ショウジョウトンボ、マイコアカネ、ナツアカネ、アキアカネ、ノシメトン、アジアイトトンボ、ウチワヤンマ / クモの仲間：ナガコガネグモ、カニグモ(種不明)

### 【花】

キク科：ダンドボロギク、オオアレチノギク、トキンソウ、ハキダメギク / ゴマノハグサ科：アゼナ、アメリカアゼナ、トキワハゼ、ウリクサ / ツユクサ科：ツユクサ / アカネ科：ヘクソカズラ、フタバムグラ / マメ科：ツルマメ、シロツメグサ、クズ、ヤマハギ /カタバミ科：カタバミ / イネ科：イヌビエ、マコモ、カゼクサ、エノコログサ / カヤツリグサ科：タマガヤツリ、カヤツリグサ / タデ科：チョウジタデ、イヌタデ、シロバナサクラタデ / ユリ科：ツルボ / アカザ科：ゴウシュウアリタソウ / ブドウ科：ヤブガラシ / キョウチクトウ科：キョウチクトウ / ミソハギ科：サルスベリ / クマツヅラ科：ボタンクサギ、ハエドクソウ / アオイ科：ムクゲ / ヒユ科：ホソナガイヌビユ、ホソアオゲイトウ / スベリヒユ科：スベリヒユ / ミズアオイ科：ホテイアオイ / トウダイグサ科：コニシキソウ、エノキグサ / ザクロソウ科：クルマバザクロソウ / ノウゼンカズラ科：ノウゼンカズラ / カラムシ科：ヤブマオ



# 9月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「トンボとバッタを調べよう」でした。今年は猛暑が9月まで続き、秋の代表的な昆虫トンボがあまり見られませんでした。が、バッタの仲間は元気一杯に草むらを飛び跳ねていました。特にコバネイナゴが多く見られ、バッタの仲間を餌にするカナヘビも多く観察されました。



今回の案内人：小泉伸夫さん



クズの汁を吸うマルカメムシ。



落ち葉の中にいたキベリアオゴミムシ



アカメガシワの汁を吸うツマグロスケバ



センチコガネの体色はパリエーションがかなりある



きれいなブルーの顔をもつマイコアカネ



葉についたカビ

神社の敷地にたまった枯れ葉をよく見ると、写真のような模様がついていました。この斑一つ一つがカビのテリトリーで、カビ同士が陣取り合戦をすることで、このような模様ができます。

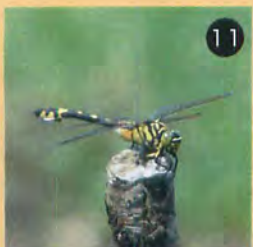


9月の観察コースと見た生き物



ツマグロスケバ

ツマグロスケバは農業害虫のウンカやヨコバイと同じ仲間で植物の汁を吸います。特にアカメガシワやドロノキにつくことが多く、一見すると小さなセミのような形をしています。



お尻にウチワのような突起があるウチワヤンマ



水田にいた代表的なアカトンボのショウジョウトンボ



水が残った田んぼではシオカラトンボが産卵中でした



スズムシよりも体がちりしているクマスズムシ



枯れ枝についたイボバッタ

## トンボの連結飛行と交尾

トンボの連結飛行と交尾について、おさらいしてみましょう。

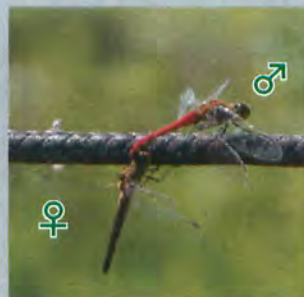
トンボのオスは腹部末端でつくられた精子を腹部前部にある貯精のう（ちよせいのう）に一度移します。その後、オスは腹部末端をメスの首元につけて連結飛行します。

交尾時はメスがオスの貯精のうから精子を受け取って受精します。

アキアカネやナツアカネの卵は、水田などの泥の中で越冬し、水田に水が張る頃に孵化してヤゴになり、5～6月に羽化してトンボの姿になります。



メスとオスの腹部末端



トンボの連結飛行



トンボの交尾